



親子で豊かな体験を

園長 米澤 千秋

子どもたちが楽しみにしていた水遊びの季節となりました。遊具を使って水遊びをしたり、広いプールに入ったりし、水の心地よさや開放感を味わっています。

5月・6月は、本園の特色ある教育の一つである「親も子も楽しい幼稚園」の実現に向けて、地域にお住まいの方々をゲストティーチャーとしてお招きし、「マジック」「落語」「日本舞踊」などの体験活動を行いました。また、日本コーディネーション協会から講師を招き、保護者向けの講話や親子で一緒に体を動かして遊ぶ機会をもちました。保護者の皆様、ご参加いただきまして、ありがとうございました。

『マジック』では、流れるような仕草で動かすお椀の中で小さい球が消えたり増えたりする様子に釘付けの子どもたち。「なんで?」「不思議!」「すごい!」とわくわくした気持ちを味わいました。『落語』では、てぬぐいや扇子を使って演じる仕草や豊かな表情での表現、言葉の響きなどから、親子で落語の面白さを感じ、楽しいひと時となりました。その後、子どもたちが高座に座って自分の名前やダジャレ、好きなことをみんなの前で言ってみるという体験もさせていただきました。みんなの前で表現し、笑ってもらったり、拍手をもらったりして、とても満足気な様子でした。『日本舞踊』では、よい姿勢で礼をすることや、日本舞踊ならではのしなやかな振りを教えていただきました。また、三味線を目の前で組み立てて演奏していただき、本物の音色を体感することができました。『コーディネーショントレーニング』では、体を使った遊びの重要性を分かりやすく教えていただき、親子で触れ合いながら体を動かすことを楽しみました。

保護者の方からは、次のような感想をいただきました。(一部抜粋)

- マジックが本格的でびっくりしました。間近で見る経験はなかなか無いので、子どもにとっていい機会になりました。
- 落語は幼児には難しいかと思いましたが、動作や雰囲気伝わると感じました。
- 落語のような日本文化に触れる体験は、とても贅沢で素晴らしいことだと思いました。
- 高座に座ってダジャレを言ってみんなから拍手をもらう体験が楽しかったようで、帰宅してから椅子を高座に見立てて、何回もダジャレを披露してくれました。
- 子どもと一緒に体を動かして、遊びながら色々学ぶことができとても有意義でした。
- 教えていただいた運動を家での何気ない時間に、子どもと一緒にやってみようと思います。



このように、見て、聞いて、感じて、やってみる!という直接体験は子どもたちの心と体を揺り動かす感動体験となり、子どもの興味関心の幅を広げ、豊かな感性や表現、創造力などを育みます。そして、親子で共に体験し、感じたことを共有することで、子どもたちにとって、より心に残る体験となります。



今後も、子どもたちの目がキラキラ輝く豊かな直接体験を充実させてまいります。保護者の皆様も引き続き、お子さんと一緒に楽しい体験を重ねていってください。

1学期間、保護者の皆様、地域の皆様にはたくさんのご支援を頂き、ありがとうございました。感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

